神奈川県南支部のホームページは(<u>全日本建設交運一般労働組合 (ctg-kennan.net)</u>)を クリックか 右のQRコードからアクセスできます。分会・班の仲間は多くの労働者に広げてください。





神奈川県南支部第32回定期大会開催!組織拡大・大幅賃上げ・労働環境改善を実現しよう



神奈川県南支部は11月16日、川崎市教育文化会館に於いて第32回定期大会を開催しました。

開会挨拶を行った清野副委員長 (左写真右側) は、高市氏は初の女性首相として支持を得ているが労働分野の規制緩和や戦争する国づくりなど、その危険性を指摘して労働組合運動の強化を呼びかけました。大会議長には清野副委員長の提案でイワサワ分会の菅原代議員 (同写真左側) が選出され議事が進行されました。また、菅原議長の提案によって合同分会の河野代議員 (最下段写真で左側に立つ) が資格審査委員兼議事運営委員に、同分会の益山代議員 (最下段写真で右側に立つ) が選挙管理委員として承認されました。つづいて小島委員長 (左の写真) が執行部を代表して挨拶を行いました (以下は挨拶の要旨)。

衆参両院で少数に追い込まれた自民党は公明党の 政権離脱後に維新の会と連立を組み、医療費 4 兆円 を削減する一方、企業団体献金禁止は棚上げし論点 を民意切り捨ての「議員の比例定数削減」にすり替

えています。また、高市首相は所信表明で国民が求めている消費税減税や裏金問題には触れず、軍事費を今年度中に GDP 比 2%に引き上げるなど米国トランプ大統領言いなりの方針を明言しました。

一方、このような政権の動きや排外主義に反対する国民の運動が広がっており、全労連や建交労をはじめとする労働組合は政治闘争を強化しています。また、トラック運送事業の労働時間規制が導入されたものの過労死認定数は増加しており 24 年度も脳・心臓疾患等による過労死認定数は前年度を上回り 16 年連続でワーストワンとなりました。過労死防止には賃上げと全産業水準の労働時間規制が求められています。県南支部は 25 春闘で 3 職場が 1 万円以上の賃上げを実現しました。山場を迎えている年末一時金闘争に全力をあげ、目前に迫っている 2026 年春闘でも大幅賃上げの可能性は十分あり、



積極的な賃金闘争をすす めようと激励し、最後100 大会スローガンである100 名支部の早期回復をはか ろうと呼びかけて挨終の 活野副委員長がテーエを 清野からのメッセージを 読み上げて紹介しました。 そのあと議事は、資格審査委員から「出席代議員7名、委任状2名、役員11名中9名出席」の報告がされて大会成立が確認・宣言され、議事運営方針の確認と選挙管理委員会の報告を確認して議案提案に移り金崎書記長 (1段目の写真右側) が経過報告と25年度運動方針およびその他の議案の一部を提案しました。

つづいて佐藤執行委員 (2段目の写真右側) が 24 年度の会計報告を行ない、三浦会計監査委員 (3段目の写真右側) による会計監査報告が行われて再び佐藤執行委員から 2025 年度の財政方針および予算案が提起されて休憩に入りました。

休憩後の討論では、議案への質問や分会からの報告につづき、 支部の大会に初めて参加したギオン分会の代議員から職場の改善 に関わる報告や質問が出されました。これには代議員や役員から 熱心に具体的な対策やアドバイスなどが行われました。

討論終了後には金崎書記長による討論のまとめを含めた議案 採決に移り提起された全議案が満場一致で採択されました。

また、役員選挙とスト権確立の批准投票を集計中に木下執行委員 (4段目の写真右側) が提起した大会宣言を拍手で採択、議長が読み上げた大会スローガン「500名支部を視野に100名支部の早期回復と強靭な組織建設・大幅賃上げ・労働環境改善のトラック運輸産業を実現しよう!」も全体の拍手で確認しました。役員選挙とスト権投票はともに満票で信任されました。

閉会挨拶を行った木下執行委員は、大会スローガンである「組織拡大・賃上げ・労働環境改善」の達成に向けて各分会の努力を呼びかけ、組合員の高齢化がすすむなかで20代・30代の若年層拡大の必要性を強調し、県南支部が目標達成を牽引するための一致団結を訴えました。大会のどくくりは、小島委員長の発声による団結ガンバローで成功裏に閉会しました。



建交労神奈川県南支部 第32回定期大会
500支部を選呼に100分 第00早期
と強ભ的な は成立
大幅質上 労働環境 のトー
には、100支部を選呼に100支部の理解に対した。100支部を選呼に100支部の理解に対した。100支部を提供に対した。100支部を提供に対した。100支部を提供に対した。100支部を提供に対し、100支部を提供に対し